

令和5年10月伊勢原市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時  
令和5年10月24日（火）午前9時30分から午前9時59分まで
- 2 開催場所  
伊勢原市役所 3階 第2委員会室
- 3 教育長及び委員  
教育長 山口 賢人  
委員（教育長職務代理者） 渡辺 正美  
委員 福田 雅宏  
委員 濱田 光子  
委員 桑原 公美子
- 4 説明のために出席した職員等  
教育部長 大山 剛  
学校教育担当部長 櫻井 綾子  
歴史文化推進担当部長  
（兼）歴史文化担当課長 立花 実  
参事（兼）教育総務課長 熊澤 信一  
参事（兼）学校教育課長 守屋 康弘  
教育指導課長 嶋本 信之  
教育センター所長 田中 美和  
社会教育課長 杉山 麻里  
図書館・子ども科学館長 林 かをり
- 5 会議書記  
教育総務課係長 窪田 暁大
- 6 傍聴人  
0人
- 7 議事日程  
日程第1 前回議事録の承認  
日程第2 教育長報告  
（1）市議会9月定例会について  
【資料1／報告者：所管部長】  
（2）第24回伊勢原市読書感想文コンクール審査結果について  
【資料2：教育指導課】

日程第3 議案第36号 令和6年度伊勢原市公立学校県費負担教職員人事  
異動方針について 【説明者：学校教育担当部長】

その他

----- ○ -----  
午前9時30分 開会

○教育長【山口賢人】 おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから教育委員会議を開催いたします。

まず、この10月教育委員会定例会から、桑原委員が新たに加わっていただいて、新しいメンバーでの初回となりますので、桑原委員から一言御挨拶をいただきます。よろしくお願いします。

○委員【桑原公美子】 おはようございます。桑原公美子と申します。私は長く教員・保育者養成に関わってきて、そちらのほうをずっと見てきたのですが、教育というのはやっぱり目の前の子どもをベースに、子ども理解から考えるというのはずって言ってきました。

ただ一方で、その子たちが生きている地域社会をまず分かって、その上で教育を考えると、この2つの視点がすごく重要だということ、今までの経験からも分かってはいるのですが、今回、教育委員という役割をいただきまして、今日少しお話ししただけでもとてもリアルな、伊勢原の地域の現状を踏まえて教育を考えると、私自身がとても実感しています。今回役割をいただいたことによって、今まで考えていたことを、具体的にどういうことなのか自分自身も考えながら、また皆さんに教えていただきながら、少しでも発言ができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長【山口賢人】 桑原委員、ありがとうございます。これからよろしくお願ひいたします。

それでは、教育総務課長より資料の確認をお願いします。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 （資料確認）

○教育長【山口賢人】 皆さん、よろしいでしょうか。

○教育長及び委員全員 （了承）

----- ○ -----  
日程第1 前回議事録の承認

○教育長【山口賢人】 それでは、日程第1「前回議事録の承認」について、お願いします。

○教育長及び委員全員 承認

----- ○ -----

## 日程第2 教育長報告

○教育長【山口賢人】 続きまして日程第2「教育長報告」となります。本日は2件ございます。

まず1件目、市議会9月定例会について、報告のほう、よろしくお願ひします。

○教育部長【大山剛】 それでは、お手元の資料1を御覧いただきたいと思ひます。市議会の9月定例会での総括質疑と一般質問でございます。

まず総括質疑につきましては、2人の議員さんから御質問をいただきまして、1つは学校施設の個別施設計画の取組内容と令和4年度の実績についてということで、計画の内容、それからこれまでの取組について御答弁しております。

2人目の議員さんからは、伊勢原市の第5次総合計画の後期基本計画についてということで、不登校児童生徒の発生率の増加についての見解ということで質問をいただいております。

3ページを御覧いただきたいと思ひます。3ページ以降が一般質問ですが、一般質問につきましては4人の議員さんからそれぞれ御質問をいただいております、そのうちお二人の議員さんが同じ成瀬地区の地盤沈下についての御質問をいただいております。

御承知のとおり、成瀬地区についてはこれまでも地盤沈下があったのですが、ここで施設に大きな影響を及ぼすような地盤沈下が進んでおりました、そのことについての御質問をいただいております。教育委員会所管の成瀬公民館と成瀬小学校についての地盤沈下について、御答弁をしているところでございます。

それから、また3ページにお戻りいただきまして、1人目の今野議員につきましては、学校図書の実と子どもの読書活動の推進ということで御質問をいただいております。

6ページを御覧いただきたいと思ひます。6ページがお二人目の議員で、先ほど申し上げました成瀬地区の地盤沈下についての御質問です。

それから、大きな2つ目として、7ページになりますが、千代田区立麴町中学校の学校改革についてということで御質問をいただいております。それぞれ内容については後ほど御確認いただきたいと思ひます。

おめくりいただきまして11ページになります。3人目の大垣議員の質問ですが、こちらについても成瀬地区の地盤沈下ということで、主に小学校関係でどういった対応をしてきたのかという御質問をいただいております。

おめくりいただきまして12ページです。最後の方ですが、岸議員から、学校での化学物質過敏症の子どもに対して、どのような対応をしているのかということで御質問をいただいております。それからもう1つ大きなものとして、13ページの(5)になりますが、デジタル教科書と電磁波の過敏症ということで御質問をいただいております。

それぞれ答弁の内容につきましては、配付しております資料を御確認いただきまして、また不明な点等ございましたらお問合せいただきたいと思います。

以上でございます。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。

では2点目、第24回伊勢原市読書感想文コンクール審査結果について、お願いします。

○教育指導課長【嶋本信之】 第24回伊勢原市読書感想文コンクール審査結果について御報告いたします。資料2を御覧ください。

まず、追加資料を御覧ください。今年度の応募総数は2,696点でした。審査につきましては、各学校の代表者により行われ、審査の結果は市長賞9作品、教育長賞18作品、その他子ども読書奨励賞、特選、入選について審査を行っていただきました。

別紙のほうで、表彰式に参加する受賞者一覧を資料として提示しておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

入賞した市長賞、教育長賞の受賞者については、速やかに市のホームページに公表するとともに、市の広報「いせはら」11月15日号に掲載する予定でございます。

また、その市長賞、教育長賞作品につきましては、作品集を作成し、市内小中学校に配付いたします。12月には完成予定でございます。

表彰式については、10月31日、火曜日、市役所2CD会議室で実施する予定でございます。

以上でございます。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。では、2件の報告が終わりましたが、この2件につきまして御意見、御質問などございましたらお願いいたします。

まず1件目、市議会9月定例会について、いかがでしょうか。

よろしいですか。では、詳しくはまた後で御覧になっていただければと思います。

じゃあ、次に2件目の読書感想文コンクールの審査結果についてはいかがでしょうか。

渡辺委員、お願いします。

○委員【渡辺正美】 この読書感想文の審査に入る前に、チャットGTPということで、そういうものが世の中で活用が始まっているということがあったわけです。

最近では生成AIという言葉で置き換えられるようになっていますが、今回、この読書感想文コンクールに関して、その辺の影響とか、何か対応とかがありましたらお願いしたいと思います。

○教育指導課長【嶋本信之】 この審査の前にも、先生方と生成AIのことについては話題にはなりました。実際、この読書感想文コンクールで提出された作品を見ますと、中身を見ますと明らかに自分で書いているなという作品ばかり

で、生成AIでつくられたなという疑いがあるような作品は、一切ございませんでした。

○教育長【山口賢人】 よろしいですか。

○委員【渡辺正美】 はい。ぜひ来年以降も、その辺のところの視点で、できるだけ読書感想文コンクールを私は続けていったほうが良いと思っているので、その辺に惑わされないような方法、対応をしていただければと思います。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

濱田委員、お願いします。

○委員【濱田光子】 受賞者の名簿があって、応募総数になると小学生も中学生も2,300点の中からこれだけ選ばれる。先ほど学校の代表者がまずは第一次審査というような形ですが、各学校の偏りとかというのは。研究指定校とか、昔そんなのがあったときもあったと思うのですが、現実的にうまく配列されていると思うのですが、その辺というのは、少し配慮はあるのですか。

○教育指導課長【嶋本信之】 受賞者ということで、賞を選ぶに当たってということですか。

○委員【濱田光子】 そう。ここの学校は読書感想文にというか、国語に力を入れている教育を今、ここ何年間かやってきて、すばらしい読書感想文が、この学校はちょっと集まっているのかな、なんていう傾向がもしあるとしたら、そこから選ばれることもなくはないのかなと。

○教育指導課長【嶋本信之】 選ぶに当たっては、どこの学校とかは一切気にせず、作品の中身だけで選びます。選んだ結果、多少の偏りはあるのですが、大きな研究をしているから、こういう取組をしているからというような傾向は、今回は見られませんでした。

○教育長【山口賢人】 分かりました。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、ないようですので次に進みたいと思います。

----- ○ -----

日程第3 議案第36号 令和6年度伊勢原市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

○教育長【山口賢人】 続いて日程第3、議案第36号「令和6年度伊勢原市公立学校県費負担教職員人事異動方針について」、提案説明をお願いします。

○学校教育担当部長【櫻井綾子】 それでは御説明をさせていただきます。議案書の1ページを御覧ください。

議案第36号「令和6年度伊勢原市公立学校県費負担教職員人事異動方針」につきましては、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第7号の規定により提案するものでございます。

裏面の2ページ目を御覧ください。伊勢原市の公立学校県費負担教職員の人事異動について、神奈川県公立学校教職員人事異動方針に準じまして定めたものです。これまでも、県の人事異動方針に即した中で、伊勢原市の方針として毎年策定しております。

伊勢原市の方針につきましては、1点目として、適材を適所に配置し、教育効果を高め、教育の活性化を図ること。2点目として、広く人事交流を図り、教職員の編成を刷新強化すること。3点目として、全市的視野に立って、性別、年齢及び勤続年数等の教職員構成の均衡を図ること。この3点を基本として、教職員の適切な配置に努めるものとします。

実際の人事案等につきましては、今後時期が来ましたらお示しをさせていただきます。

説明は以上となります。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。令和6年度の伊勢原市公立学校県費負担教職員人事異動方針、毎年見直しながら提案をしているものですが、ちなみに、昨年度と比較して変更した点はございますか。

○参事（兼）学校教育課長【守屋康弘】 昨年度と比較して変更点はありません。

○教育長【山口賢人】 分かりました。では、今の提案について、何か御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

○委員【福田雅宏】 1ついいですか。今のやり取りを聞いていると、毎年これは年ごとに方針を策定というか示して、採決を採るということなのですか。

○参事（兼）学校教育課長【守屋康弘】 毎年、こういった形で、方針という形で採択しています。県の方針に即して方針を定めていますので、県の方針に変更等があったときには、変更を行います。

○委員【福田雅宏】 ありがとうございます。

○教育長【山口賢人】 ほかにいかがでしょうか。

では、ほかにないようですので、採決に入らせていただきます。

日程第3、議案第36号「令和6年度伊勢原市公立学校県費負担教職員人事異動方針について」、賛成の方は挙手をお願いいたします。

○教育長及び委員全員 挙手。

○教育長【山口賢人】 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

----- ○ -----

その他

○教育長【山口賢人】 続きまして、その他でございます。委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。

事務局から何かありますか。

歴史文化推進担当部長、お願いします。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 お手元にお配りしました黄色いチラシについて御説明いたします。

いせはら文化財展覧会を開催いたします。この事業は、令和5年度の地域文化財総合活用推進事業として、文化庁の補助金を利用して開催するものです。

市内には文化財が集中するエリアとして、大山、日向、比々多の3つのエリアがありますが、そのエリアについては、これまでもこのような補助制度を利用して、文化財の活用事業を実施してまいりました。

昨年度は大山阿夫利神社所蔵の能面・能装束の展覧会、その前ですと外国人観光客対応の大山火祭り薪能、それから日向地区については、ライトアップをしました宝城坊宝殿の特別展覧会などを開催しておりました。

そうした中で、今年につきましては、比々多神社と比々多観光振興会様の御協力を得まして、比々多地区を中心とした文化財イベントであります「比々多一万年の旅」というものを開催することにいたしました。

期日は11月18日から12月3日までで、比々多神社をメイン会場としまして、比々多地区全体で行う予定になります。

具体的な内容について、裏面を御覧いただきたいのですが、1つ目としまして、比々多神社の郷土博物館の特別展示としまして、ややレトロな会場なので、そこに照明をつけたり、新たな解説パネルの設置をしたりして、期間中無料公開といたします。

2つ目は、スマホで利用できます三ノ宮地区のデジタルマップを作成しております。イラストで表現した三ノ宮地区の地図に文化財を落とし込んでありまして、それぞれについて解説を読むことができます。また、スマホを片手に現地を歩いていただきますと、ポイント特典画像がダウンロードできるといった、ちょっと遊び心があるようなものになっております。これも期間中利用することができます。

3つ目としまして、11月18日と26日の2日間については、午前と午後の2回にわたりまして、比々多神社周辺のウォークツアーを実施いたします。永井治子名誉宮司と遺跡系エッセイストとして活躍中の今井しょうこさん、本も出されているのですが、この方にガイドを務めていただきます。

それから、最後になりますが、プロの彫刻家が指導しまして、勾玉づくりのワークショップも開催いたします。

このほか、地元の比々多観光振興会の自主事業としまして、巨大な勾玉づくり、それから縄文時代の発掘調査に参加する女性のドキュメント映画の上映会なども予定しております。

これにつきましては、本日この後に市長が定例記者会見で会見をすることとなっております。

地域の文化財を知っていただくために新しい企画も用意しておりますが、地元の方々とともに取り組んでいきたいと考えておりますので、御都合がよろしければ、ぜひ足を運んでいただければと思います。

以上です。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。何か今の件についてありますか。

濱田委員、お願いします。

○委員【濱田光子】 文化庁の補助事業という話ですが、補助金というのはどのぐらいで、このイベントにかかる予算というのはどのぐらいを考えていらっしゃるのですか。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 この文化庁の補助金自体は、実は市に直接入るものではなくて、市がつくっている協議会という別組織に入ってくる仕組みになっております。

その協議会には文化財の所有者さんですとか、地域の観光振興会の方々、それから市内で文化財の市民活動をされている代表の方々などに参加していただいております、そこに補助金が入ってくるという仕組みになっております。

この中で、このイベントにつきましては、総事業費が420万円ほどです。そのうちの85%が国からの補助金の形になりまして、残りの15%については市から協議会に対して補助金を出しております、そのお金を合わせて実施しております。

それ以外に、比々多観光振興会様のほうからは、自主事業として観光振興会の費用で幾つか追加の事業をしていただく、そのような形になります。

○委員【濱田光子】 ありがとうございます。

○教育長【山口賢人】 ほかにはいかがですか。

○委員【渡辺正美】 ちょっと日程に関係したことで、よろしいですか。

主要行事一覧の中の6番ですが、伊勢原市学校地域連絡協議会、もうずっと行っているのですが、実は学校母体の組織が変わったわけですね。これまでは、要するに地域連絡会ということで行ってきていて、そして、ここで代表者が集まっているいろいろ情報交換や方向性などの確認をしたりしていたと。

この名称ですが、これは今、仕組みがある程度似ていると言えば似ているのですが、変わったのですが、代表者はどうなっているのかとか、どのように運営しているのかということなどをお聞きしたいのですが。

○教育指導課長【嶋本信之】 大きくは令和4年度よりコミュニティスクールが設置されまして、それに合わせて、この会についても変わっております。

これに出席される方は、コミュニティスクール、学校地域連絡協議会委員の方がそれぞれ来られて、情報交換するという場になっています。

○委員【渡辺正美】 ということは、基本的には名称は昔と同じような名称ですが、新しい仕組みの中の、やはり代表者なり何なりが各校1名ぐらいずつ集まって協議するというところで理解してよろしいですか。分かりました。

○教育長【山口賢人】 ほかにはいかがですか。よろしいでしょうか。

では、最後に来月の定例会の日程をお願いします。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 次回の定例会につきましては、11月27日の月曜日、総合教育会議の終了後になりまして、午後3時30分から、

会場につきましては市役所3階の議会の全員協議会室において開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○教育長【山口賢人】 それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

----- ○ -----  
午前9時59分 閉会